

授業のポイント



①「見方・考え方」を視点に仲間と議論



「丈夫さ」「美しさ」「正確さ」など、題材を通して大切にしてきた「見方・考え方」を視点として仲間と議論し、最適な構造を導き出すことができました。

②実際の生活と結び付ける終末



「学校の体育館の屋根」「修学旅行で行ったスカイツリーの構造」など、本時学習した三角構造が実際の生活に役立っている場面を提示し、学習と生活を結び付けました。



実物模型



実際に触って構造を確かめることで、実感をもって考えを確かめることができました。

ワークシート・ICTの活用



ワークシートを撮影し、協働学習支援ツールで共有することで、仲間の考えを参考にしながら、考えを深めることができました。